

令和 3 年度 瑞浪南部地域包括支援センター 事業報告

資料1-1

1. 基本情報

| | | | | |
|---|-------------------|--------|--------|-------|
| センター名 | 瑞浪南部地域包括支援センター | | | |
| 担当生活圏域 | 瑞浪地区、稲津地区、陶地区 | | | |
| 圏域の状況 <small>(令和 3 年 10 月 1 日現在)</small> | | 総人口 | 高齢者数 | 高齢化率 |
| | 市 | 36,592 | 11,583 | 31.7% |
| | 南部圏域 | 22,236 | 6,575 | 29.6% |
| | 北部圏域 | 14,356 | 5,008 | 34.9% |
| 運営法人名称 | 社会福祉法人 瑞浪市社会福祉協議会 | | | |

| 職員 <small>(令和 4 年 3 月 31 日現在)</small> | |
|---------------------------------------|--------|
| 職種 | 人数 |
| 主任介護支援専門員 | 1 人 |
| 社会福祉士 | 2 人 |
| 保健師等 | 1 人 |
| その他(看護師、介護支援専門員) | 2 人(非) |

2. 地域包括支援センターの方針(圏域の特色や課題分析を踏まえて)

一人暮らし、高齢者のみの世帯が増加しており、また8050世帯など多問題を内包する相談が上がっています。介護予防事業の実施や関係機関との連携を通じて、センターの周知に努め、相談しやすいセンターづくりを行います。個別の相談には丁寧に対応し、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができることを目指しました。

3. 運営体制

| 項目 | 取組内容 | 報告 |
|----------|--|--|
| 公正・中立の確保 | センター職員は情報共有し、チームで対応することを心がけます。事業所や施設の紹介時には、客観的な情報提供を行い、ケアプラン委託時は偏りが無いよう努めます。 | 担当する3地区において、偏りが無いように介護予防教室を企画しています。個別相談対応には、介護サービス利用ガイド・保健福祉サービス利用ガイドを活用して情報提供をしています。ケアプラン作成の委託時は偏りにないよう留意しています。事業実施状況を市や運営母体の理事会等に報告しながら取り組んでいます。 |
| 個人情報保護体制 | センターが持つ個人情報は、個人情報保護に関する法律、瑞浪市個人情報保護条例、法人運営規定を遵守して厳重に取り扱います。 | 個人情報に関する法律、瑞浪市個人情報保護条例、法人運営規定を順守して運営を行っています。 |
| 苦情対応 | 法人内の苦情解決規定に基づき、管理者を苦情解決責任者として配置し、誠実かつ速やかに対応します。 | 苦情対応受付簿を作成し、法人内の苦情解決規定に基づき、対応している。申し立てはありませんでした。 |
| 時間外・休日体制 | センターの電話を携帯電話に転送することで、24時間365日連絡可能な体制を確保します。 | センターの転送電話を受ける携帯電話を職員が所持し、対応しています。 |
| 利用者への配慮 | センター職員は接遇に留意して相談対応を行い、来所相談者に対して、必要時個室にて対応します。 | 職員一人一人が接遇に留意し、来所相談では個室を利用しています。職員はチームで情報共有に努め、相談対応が途切れることがないようにできました。 |

4. 地域包括支援センターの重点取り組み事項(自由記載)

| 取組内容 | 報告 |
|--|--|
| <p>(1) 地域福祉を担う法人との連携に努めながら、センター職員の相談対応力の向上に努める。</p> <p>(2) コロナ禍においても、介護予防事業を実施するため、細心の感染予防対策を行う。</p> | <p>(1) 同一建物にあることから、相談の内容に応じて、法人内で連携して対応することができた。</p> <p>(2) 感染対策を施し、地域の状況を把握しながら、まん延防止期間等をのぞいて日程調整を行いながら柔軟に対応した。</p> |

5. 事業別の具体的な取り組み事項

I 地域包括支援センターの機能強化（包括的支援事業）

| 事業、事業名 | 現状・課題 | 目標(目指す姿) | 目標値 | 報告 |
|-----------------------|--|---|--|---|
| (1)総合相談支援事業 | | | | |
| 総合相談 | 開設2年目となり、徐々に相談が増えてきている。 | センター職員の資質向上に努め、三職種がチームで対応し、市や関係機関と連携をとり、相談しやすいセンターを目指す。 | 相談対応力向上のため、各種研修に積極的に参加する。 | オンラインの研修が多い点を活かして、積極的に研修を受講している。職員は日頃からコミュニケーションを取り、情報共有に努めている。市やケアマネジャー等と適宜連携を取りながら、長期化、複雑化する相談に対応できた。 |
| 実態把握、地域におけるネットワークの構築 | コロナ禍において地域へ出向く活動は少なかった。 | 関係機関との連携体制ができ、高齢者の相談がセンターにつながりやすくなる。 | 民生委員、福祉委員等の定例会への参加1～2回/年 | 各種定例会の中止や、時間短縮対応等により、参加は出来ない。個別相談や介護予防事業の中で連携できた委員があった。 |
| 家族介護者への相談体制の充実・情報提供など | センターのチラシを民生委員に配布し、市や薬局窓口に設置して周知に努めた。 | 来所、電話、訪問にて、適切に相談対応する。情報収集に努め、適切な情報提供ができる。 | 市が発行する利用ガイドを活用し、施設や居宅介護支援事業所の状況を把握して情報提供する。 | 介護サービス利用ガイド等を利用し情報提供をするとともに、新しい情報を取り入れるため、研修の受講、ケアマネジャーとの連携をおこなっている。 |
| (2)権利擁護業務 | | | | |
| 1)成年後見制度の活用促進 | 成年後見制度につなぐ必要がある対象者に対して、相談対応し、東濃成年後見センターとの連携、紹介をしたり、市長申し立てへ向けて市と連携を行った。 | 成年後見制度の理解や利用について、幅広く周知される。制度につなぐ必要な方があれば、成年後見センターと連携しながら、迅速に支援する。 | パンフレットやセンターの掲示板などを活用しながら、制度の周知を図る。研修会に積極的に参加し、職員の資質向上に努める。 | 研修を受講し、知識の習得や対応力向上に努めるとともに、必要時、市や東濃成年後見センター、東濃権利擁護センターと連携して対応することができた。 |
| 2)高齢者虐待の防止及び対応 | 権利侵害や虐待が疑われる情報提供があった場合は、市と情報共有して対応している。早めに情報提供されるよう広報が必要。 | 虐待防止や通報義務が地域や関係者に周知される。職員の資質が向上し、虐待を把握した際は、市と連携して適切に対応できる。 | 虐待対応研修を受講し、職員の資質向上を図る。介護、医療関係者等から、早めに情報提供されるよう連携する。 | 市が実施した虐待対応研修に全員が参加した。社会福祉士を中心として、異職種での複数対応、チーム対応を基本とし、市や必要な機関と連携した。 |

| | | | | |
|--------------|--|---------------------------------|----------------------|--|
| 3) 困難事例への対応 | 様々な問題を内包する家庭が増えつつあるため、関係機関と連携を取りながら対応している。 | 困難事例に対して、関係機関と連携しながら、適切に対応ができる。 | 他事業所と事例検討や学習会を開催する。 | ケアマネジャーが抱える対応困難ケースに対し、同行訪問や相談、市を交えた地域ケア会議を実施し対応している。 |
| 4) 消費者被害への対応 | 消費者被害に対する相談はなかった。予防を広報することはできなかった。 | 消費者被害を予防する意識が周知される。 | パンフレットの配布を行う 4回/年 | 市民に対する予防や知識の周知は取り組めなかった。 |

(3) 地域ケア会議の充実

| | | | | |
|---------------------------------------|--|--|--|---|
| 地域ケア個別会議の実施、多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築など | 重度化防止の個別ケア会議への参加、困難ケースに対するケア会議を3例実施した。 | 地域ケア個別会議を開催し、課題を関係者と共有し、解決につなげる方向性を把握する。 | 地域ケア個別会議を実施し、高齢者のニーズ把握や、地域課題を把握する。 3回/年 | 市が行う重度化防止の個別会議へ4回参加した。困難ケースに対する会議を4回実施した。 |
|---------------------------------------|--|--|--|---|

※地域ケア会議：地域ケア個別会議、地域ケア推進会議(市レベル・圏域レベル)の総称

| 事業名 | 現状・課題 | 目標(目指す姿) | 目標値 | 報告 |
|--------------------------------|--|---------------------------------|--|---|
| (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 | | | | |
| 1) 介護支援専門員に対する支援 | | | | |
| ア) 日常的個別指導・相談 | ケアマネジャーの資質向上につながる研修実施、連絡会を通じた連携体制づくりを行っている。 | ケアマネジャーの連絡会等を通して、相談しやすい仕組みができる。 | 主任ケアマネ連絡会と協力し、相談体制を作る。 | 土岐・瑞浪ケアマネ連絡協議会、瑞浪主任ケアマネ連絡会を通じて、ケアマネ同士の関係づくりを行っている。研修や事例検討などを通じて、包括センターが支援するだけでなく、主任ケアマネ同士が連携、相談し合うことができるようになった。 |
| イ) 支援困難事例等への指導・助言 | 認知症、精神疾患、障がい者を含む家庭等に関する相談などがあり、同行訪問、相談対応した。 | 支援困難な事例に対する相談が、しやすいセンターになる。 | 面接、同行訪問等適宜。地域ケア個別会議の活用。 | ケアマネジャーの困難ケースに、面接、同行訪問、地域ケア個別会議を実施する中で、背景となりやすい精神疾患、発達障害について、包括センター自身が学ぶ機会になった。支援困難な状況を客観的に課題整理ができるよう努めながら関わっている。 |
| ウ) 地域における介護支援専門員のネットワークの構築と活用 | 瑞浪ケアマネ連絡協議会、瑞浪主任ケアマネ連絡会の事務局の支援に関わり、資質の向上、地域の連携体制づくりを行っている。 | ケアマネジャーの横の繋がりを継続しながら、資質向上を目指す。 | 土岐・瑞浪ケアマネ連絡協議会 研修4回/年 主任ケアマネ連絡会 月一回 | コロナ禍においても、オンラインを活用しながら土岐・瑞浪ケアマネ連絡協議会研修会3回、瑞浪主任ケアマネ連絡会10回を実施し、情報交換や活動を継続できた。 |

II 地域での助け合い・支え合いの推進 ～地域共生社会の実現に向けて～

(包括的支援事業 社会保障充実分)

| 事業名 | 現状・課題 | 目標(目指す姿) | 目標値 | 報告 |
|----------------------|--|------------------------------|------------------------|--|
| (1)生活支援体制整備事業 | | | | |
| 第2層協議体の設置・取り組み | 第2層協議体設置に向けた学習会の開催準備において、市とともに先進地の視察をした。 | 地域住民が主体的に参加して、地域について考える場ができる | 瑞浪南部圏域に第2層協議体を1か所設置する。 | 生活支援コーディネーター会議に出席し、情報交換や2層協議体の編成に向けた勉強会の話し合いをおこなった。地域を知るため、陶福祉村定例会、陶がやがや会議に出席した。 |

III 介護予防・生活支援総合事業等の推進

| 事業名 | 現状・課題 | 目標(目指す姿) | 目標値 | 報告 |
|----------------------------|--|---|--|--|
| (1)介護予防の支援と推進 | | | | |
| 1)介護予防教室、介護予防出前講座、健康相談等 | 市の作成した感染予防対策に沿って、教室や講話を実施。教室参加者は、リピーターが多かった。 | 担当地区で偏りが無いよう、地域の意見を取り入れて事業を行い、介護予防活動の普及と啓発を行う。 | 教室 10か所 講話 18回 専門職を起用した教室を実施する。 | まん延防止等重点措置、緊急事態宣言などの状況変化があったが、日程を変更等行い、9か所で合計43回、計画した予防教室は概ね実施できた。健康講話はキャンセルがあったが、寿大学などで9回実施した。 |
| 2)介護予防・日常生活支援総合事業対象者の把握の推進 | 配食サービス、自立デイ希望者等を市につないだ。地域からの発掘はコロナ禍により困難だった。 | 地域のサロン会、自主活動の場を把握し、虚弱者やハイリスク者に早期に関われるようにする。 | 寿楽荘 12回 稲津宅老所 6回 市と連携を取りながら実施していく。 | 地域の定期的な活動の自粛により、参加の機会が少なかった。介護予防教室の参加者で、心身状況が気になる方に対しては、特に注意して経過観察した。 |
| 3)保健事業と介護予防の一体的実施事業 | 令和3年度より実施される | 圏域内の高齢者の医療・介護データの分析内容から、効果的な教室を企画し健康寿命の延伸につなげる。 | 適宜 | 地域のサロンなどの出前講座において、市の保健師と連携することができた。介護予防教室メニューに計画したとおり、栄養・口腔の項目を取り入れることができた。 |
| (2)介護予防ケアマネジメントの実施 | | | | |
| 指定介護予防支援事業および第1号介護支援事業 | ケアプラン実績の半数弱を委託している。 | 目標及び本人の意向が明確なケアプラン作成を目指す。 | 委託ケアプランの手順を再確認する | ケアマネジメントの件数は一か月154～178件で増加傾向である。包括センター直営の目標件数90件に達した月があった。委託先事業所とのケアマネジメント手順について、北部包括センターと確認できた。 |

IV 認知症施策の充実

| 事業名 | 現状・課題 | 目標(目指す姿) | 目標値 | 報告 |
|---------------------|---|---|--|--|
| (2)認知症総合支援事業 | | | | |
| 認知症地域支援推進員の取り組み | 認知症サポーター養成講座の実施、認知症カフェへの参加、オレンジの絆活動を通じて、認知症支援に携わっている。 | 認知症にやさしいまちづくりを目指し、地域でのサポーター養成講座実施しサポーター養成を継続する。 | 認知症サポーター養成講座実施 3回/年 認知症地域支援推進員研修受講予定 1名 | 認知症サポーター養成講座を7回実施できた。地域支援推進員が2名になった。認知症支援に関わる行事等に積極的に参加、協力できた。 |

令和3年度 < 瑞浪南部地域包括支援センター活動報告書 >

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | |
|--------|--------------|-----------|----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 相談内容 | 日常生活に関する相談 | 家事について | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | | ゴミ出しについて | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 食事について | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| | | 入浴について | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 交通手段について | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | | その他 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 4 | 4 | 2 | 16 |
| | 介護予防関連 | 介護予防・健康管理 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 5 |
| | | 各種教室等 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 4 | 11 |
| | | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 介護保険外サービス | 自立デイ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 2 |
| | | 配食サービス | 3 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 3 | 4 | 2 | 6 | 23 |
| | | 安心電話 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| | 介護保険関係 | 申請 | 12 | 9 | 7 | 3 | 4 | 8 | 14 | 13 | 9 | 7 | 22 | 10 | 118 |
| | | 契約 | 0 | 7 | 4 | 9 | 2 | 9 | 3 | 11 | 5 | 5 | 7 | 6 | 68 |
| | | ケアマネについて | 14 | 9 | 29 | 20 | 23 | 7 | 11 | 23 | 19 | 24 | 20 | 9 | 208 |
| | | 在宅サービス | 9 | 10 | 17 | 13 | 12 | 10 | 12 | 15 | 17 | 24 | 21 | 12 | 172 |
| | | 住宅改修・用具購入 | 5 | 10 | 6 | 2 | 0 | 0 | 8 | 6 | 1 | 1 | 2 | 10 | 51 |
| | | 施設入所 | 1 | 2 | 13 | 2 | 3 | 1 | 1 | 2 | 2 | 10 | 16 | 7 | 60 |
| | | その他 | 0 | 0 | 4 | 5 | 5 | 1 | 6 | 2 | 3 | 5 | 5 | 3 | 39 |
| | 医療に関する相談 | 医療機関受診 | 1 | 0 | 2 | 1 | 1 | 1 | 0 | 14 | 0 | 1 | 6 | 2 | 29 |
| | | 入退院に関する相談 | 10 | 4 | 4 | 0 | 2 | 0 | 1 | 8 | 1 | 2 | 14 | 4 | 50 |
| | | 在宅医療介護連携 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 5 |
| | | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 5 | 0 | 9 |
| | 認知症について | 3 | 1 | 8 | 7 | 8 | 2 | 4 | 3 | 8 | 5 | 18 | 8 | 75 | |
| | 障がい者等について | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 2 | 2 | 7 | 18 | |
| | 権利擁護 | 金銭管理 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 7 | 5 | 0 | 18 |
| | | 消費者被害 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 成年後見制度 | | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 15 | 13 | 13 | 48 | |
| その他 | | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | |
| 虐待 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 5 | 3 | 0 | 12 | | |
| 困難ケース | 2 | 1 | 28 | 12 | 20 | 23 | 7 | 8 | 10 | 5 | 0 | 10 | 126 | | |
| 苦情 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 10 | 12 | | |
| その他 | 1 | 5 | 3 | 1 | 2 | 4 | 7 | 9 | 3 | 5 | 16 | 7 | 63 | | |
| 合計 | | 66 | 66 | 133 | 80 | 89 | 72 | 88 | 121 | 86 | 138 | 183 | 133 | 1255 | |
| 相談者 | 本人 | 12 | 13 | 19 | 18 | 10 | 13 | 21 | 18 | 15 | 15 | 23 | 24 | 201 | |
| | 家族 | 17 | 18 | 12 | 17 | 20 | 7 | 11 | 21 | 19 | 28 | 34 | 28 | 232 | |
| | 近隣・知人 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 6 | |
| | 民生委員 | 1 | 5 | 8 | 1 | 2 | 4 | 7 | 7 | 1 | 6 | 6 | 1 | 49 | |
| | 医療機関 | 7 | 9 | 13 | 7 | 10 | 10 | 9 | 6 | 6 | 14 | 18 | 12 | 121 | |
| | 行政機関 | 7 | 4 | 17 | 7 | 11 | 7 | 11 | 22 | 16 | 17 | 24 | 16 | 159 | |
| | 社会福祉協議会 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3 | 3 | 3 | 0 | 11 | |
| | 介護支援専門員 | 14 | 9 | 34 | 13 | 20 | 15 | 19 | 29 | 19 | 32 | 27 | 31 | 262 | |
| | サービス事業所 | 4 | 1 | 15 | 1 | 9 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 | 30 | 12 | 85 | |
| | 北部地域包括支援センター | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | 見守り協定先 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | その他 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 0 | 3 | 13 | |
| | 合計 | | 63 | 62 | 118 | 66 | 83 | 61 | 81 | 106 | 82 | 126 | 165 | 127 | 1140 |